

吾妻山砂防通信



荒川第10砂防堰堤

第72号

荒川流域砂防堰堤管理用通路外工事：小林土木株式会社

【工事の概要】

工期：令和4年10月18日
～令和5年2月28日

工事箇所と主な工事内容

- 1) 佐原地区(塩の川第8砂防堰堤管理用道路)
 - ・塩の川第8砂防堰堤を造るための道路を造っています
- 2) 土湯温泉町地区(荒川第10砂防堰堤補修)★
 - ・荒川第10砂防堰堤を補修する工事を行っています
- 3) 在庭坂地区(不動沢第2砂防堰堤管理用道路)
 - ・不動沢第2砂防堰堤を管理するための道路を補修しています

【現場代理人から一言】



小林土木(株) 菅野さん

温泉街から現場までの道路は、市役所の除雪区域になっていますが、現道は急勾配・急カーブが続く道幅の狭い道路で、除雪の雪は路肩に残る状況です。今の時期は日中溶け出した路側の雪が路面に広がり夕方前から凍結する状況です。現場は迂回路のない道路なので、凍結時に車がスリップ事故等で走行不能になった場合、周辺の住民、宿泊施設、温泉関連施設等に多大な迷惑をかけることとなります。一般車両との通行障害及び交通事故の災害リスクを出来るだけ減らし、スムーズな車両通行を確保するため、融雪剤散布機を搭載した軽トラックを常備し、凍結が予想される場合及び路面凍結時に融雪剤を散布します。また、沿線の温泉、温泉管理施設等とのコミュニケーションを図り、工事の理解を得るようにしています。



1月23日(月)に、土湯温泉町地区(荒川第10砂防堰堤)の現場へ取材に行ってきました！

★荒川第10砂防堰堤を補修しています★

昭和40年(1965年)に完成した、荒川第10砂防堰堤を補修しています。河川内から集めた土砂等を使い工事用道路、施工ヤードを造ったあと、本堤と副堤の間に土砂崩れを防ぐための擁壁を造る工事を行っています。

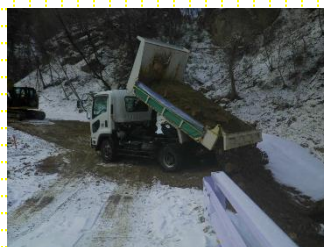


現場は温泉街の奥、各施設に配慮しながら、冬の季節も安全に工事が行えるよう様々な安全対策がとられていました。

取材当日は、うっすらと雪が積もった道路状況でした。道路は狭く、対向車が来たら困る箇所もあり、冬場は特に大変な現場と感じました。川上温泉前の河川内から集めた土砂を積んで、荒川第10砂防堰堤の施工ヤードに運搬・盛土を行っていました。



▲重機を使って河川の土をダンプトラックに積み込みます。



▲土砂を荒川第10砂防堰堤まで運びます。

【様々な安全対策】



▲凍結防止剤散布機を搭載した軽トラックで朝一番で凍結防止剤を散布してから、作業車両が現場へ向かいます。



▲除雪時でもバイナリー発電施設の温泉水送水管が分かるよう注意喚起のための目印を設置しています



▲発電施設の事務所前に予定を記入し情報を共有します



▲温泉水横断箇所を敷鉄板を置いて保護しています

